第 | 学年学級活動(2)指導案

児 童 男子 I O名 女子 4名 計 I 4名 指導者 大沢 菜摘

! 題材 「みんなでつくろう たのしいきゅうしょくじかん」学級活動(2)エ 食育の観点を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成

2 題材について

(1) 児童の実態

本学級の児童は、給食の時間を楽しみにしている児童が多い。苦手な食べ物がある児童もいるが、少しでも食べようとしたり、食べる量を増やしたりするようになってきた。学級としての残食も減り、残さず食べようとする気持ちが育ってきている。一方で、給食時間を楽しいものにするために、マナーを意識した食べ方をしている児童は少なく、盛り付けや食器の置き方が雑になったり、食器を持たずに食べたりする様子も見られる。また、事前アンケートからも、みんなで楽しく食べるために必要なことを理解している児童は少ないことが分かった。以上のことから、給食時間におけるこれまでの児童の成果を認めつつ、これから目指していくことを考えさせていきたい。

(2) 題材設定の理由

自分の食べ方を見つめ直し、食事のルールやマナーを守ることは、給食をみんなで楽しく食べることにつながるとともに、自分を高めることにつながり、自己実現への基盤となると考える。また、食事のマナーを大切にすることで、周りの人も気持ちよく食事ができることから、よりよい人間関係を形成していくためにも非常に重要な視点であると考え、本題材を設定した。指導にあたっては、学級の友達とともに準備し食事をする給食を取り上げることで、自分にできることの可能性を広げるとともに、学級での生活をより豊かにすることにつながる等、学習することの価値に気付かせることができるようにする。本題材を通して、給食における自分の課題を解決し、毎日の給食時間をより楽しく、気持ちのよい時間にしようとする意欲を高め、実践化を図れるようにしたい。

3 育成を目指す資質・能力

AMCHII/AX 1007		
知識及び技能	望ましい食習慣の形成を図ることの大切さを理解し、給食の時間の楽しい食事の仕方を身に付けるようにする。	
思考力、表現 力、判断力等	自己の生活上の課題に気付き、多様な意見を基に、自ら解決方法を意思決定 することができるようにする。	
学びに向かう カ、人間性等	自己の生活をよりよくするために、他者と協働して自己の生活上の課題の解決に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重してよりよい人間関係を形成しようとしたりする態度を養う。	

4 評価規準

よりよい生活を築くための 知識・技能	集団や社会の形成者としての 思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係を よりよくしようとする態度
自己の身の回りの諸課題の	自己の身の回りの諸課題を知	自己の生活をよりよくする
改善に向けて取り組むことの意	り、解決方法などについて話し	ために、進んで課題解決に取
義を理解し、基本的な生活を送	合い、自分に合ったよりよい解	り組み、他者と仲良くしてよ
るための知識や行動の仕方を身	決方法を意思決定して実践して	りよい人間関係を形成しよう
に付けている。	いる。	としている。

5 研究にかかわって

知る力	自他のよさや可能性を知る。
	自分の力を高め、実践する。
	・楽しい給食時間にするための食べ方や準備の仕方を知り、行動に移す。
◎高める力	【知識・技能】
	・よりよい食べ方や準備の仕方について考え、改善を図って望ましい食習慣を
	形成するために判断して行動している。【思考・判断・表現】
つながる力	他者にはたらきかける。

〈「高める」ための手立て〉

(1) 提示する資料の工夫

よりよい食事の仕方について考えられる資料として 2 パターンのイラストや栄養教諭からのメッセージを準備し、食事中にふさわしい食べ方や準備の仕方について話し合うことができるようにする。

(2) 家庭との連携

みんなで楽しく食べるために決めたことを取り組めるよう、その意義や必要性を家庭にも伝え、連携を深める。

6 事前の指導

	児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
1	アンケートに記入する。	・普段の給食時間の様子、自分や	◇アンケートに回答すること
		学級全体の食べ方を想起できる	で、これまでの給食時間の
		よう助言する。 ▷アンケート	行いについて振り返り、自
2	食事にまつわる絵本の	・ 自分の食べ方を見つめ直し、よ	分を見つめることができて
_	読み聞かせを聞く。	りよい食べ方について考えるき	いる。【思考・判断・表現】
	Mary 141.4 - C [41] (0	っかけを与える。▷ 絵本	(アンケート)

7 本時の指導

(1) ねらい

給食の準備の仕方や食べ方について考え、楽しく気持ちのよい食事ができる取組を意思決定 し、実践につなげることができる。

(2) 本時の展開

	児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
つかむ 7分	 1 題材の把握 食事の仕方や給食時間の在り方 について問題意識をもつ。 ・食べる量が増えて残食が減った →おいしくもりもり食べること〇 ・楽しく食べること→もう少しで きることがありそう。 	これまでの知識や成果を認め つつ、学級全体としての課題 に気づくことができるように する。・アンケート結果	◇題材を自分事として 捉え、課題をもって いる。【態度】 (アンケート)
	たのしいきゅうしょくじかんにするためのほうほうをかんがえて、じぶんのめあてをきめよう。		

	2 必要性の実感		
	 2 必安性の実際 みんなで楽しく食べるために必要なことを考える。 ・楽しくするためには、みんながルールやマナーを守ることが大切だ。 ・ルールやマナーを守って食べると、もっとかっこいい自分になれそうだ。 	・よりよい食べ方や準備の仕方に主体的に取り組む意義や必要性を理解させる。 ・なりたい自分に近づくことができる取組であることに気付かせる。 ・マイナス面についての意見を扱う時は、特定の個人名が出ないように配慮する。	◇よりよい給食の食べ 方、準備の仕方につ いて理解している。 【知識・技能】 (発言)
さぐる・見つける 2分	3 解決方法の話し合い よりよい給食の食べ方や準備の 仕方について話し合う。 ・散らかさずに食べる。 ・食器を持って食べる。 ・正しい場所に食器を置く。 ・きれいに盛り付ける。 ◆ 食べやすい。 自分も相手も、気持ちがいい。	・「もりつけ」「た、自分だけで、自分だけで、自分だけで、自分だけで、自分だけできるようにとなる。 ・ できるように関がるように関がるように関がるように関がるように関がるように関がるように関がるように関がるように関がるように関がるように関がるようを受いたがに指出せるようと、するを受けまる。 ・ をきるの 意見をできるというという。 ○栄 (写真・動画等)	◇よりはた 体の仕方を身ないも を話しいで ではいるで ではいるで ではいるで ではいるで ではいるで ではいるで ではいるで でいる でいる
			ついて考えている。 【思考・判断・表現】 (発言)
決める	4 個人目標の意思決定 (I)自分のめあてを決める。	 ・話し合いで出た意見をもとに、自分の課題に合っためあてを立てることができるようにする。 →意思決定〈選ぶ〉 ▷めあてカード 	◇多様な意見を基に、 自らの解決方法を意 思決定している。 【思考・判断・表現】 (めあてカード記述)
分	(2)めあてを発表し合う。(3)本時の振り返りをする。・これからがんばりたいこと	・決めためあてを発表し、意欲を高めさせる。・決めためあてを大切にするとともに、最後まで粘り強く取り組むことを確認する。	

8 事後の指導

児童の活動	・指導上の留意点 ▷資料	◇目指す児童の姿 【評価】(方法) ☆研究にかかわって
1 実践する。給食時間にそれぞれが決めためあてに主体的に取り組む。	 ・給食時間に、自分が決めためあてを意識して行動できるよう、声かけをする。 ☆みんなで楽しく食べるために決めたことを取り組めるよう、その意義や必要性を家庭にも伝えて連携を深め、励ましていただくことができるようにする。 	◇自己の生活上の課題の解決に 向けて、粘り強く取り組んで いる。【態度】 (行動観察、実践カード) ☆楽しい給食時間にするための ルールやマナーを身に付けて 行動している。 【知識・技能】(行動観察)
2 自分の実践を振り返る。	 ・ Ⅰ週間程度実践し、自己評価をする。振り返りを行う場も設定して、継続的な実践になるようにする。 ・ 必要に応じて新たなめあてを立てて取り組むことができるように声かけをする。 ▷めあて・実践カード 	☆よりよい食事の仕方について 考え、改善を図って望ましい 食習慣を形成するために判断 して行動している。 【思考・判断・表現】 (行動観察、実践カード)

9 板書計画

